

2025年3月26日  
広島市立大学平和学研究科

## 広島市立大学大学院平和学研究科入学試験における変更について

2025年度以降に実施する平和学研究科の入学試験における、試験実施方法および学力検査の内容等を以下のとおり変更します（外国人留学生特別入試を除く）。

なお、詳細については、各入試区分の学生募集要項を必ず確認してください。

### 1 変更時期

2025年8月に実施する入学試験から変更します。各入試区分の日程については、本学ウェブサイトで確認してください。

### 2 試験実施方法の変更について

次の入試区分の入学試験は、これまで本学を試験会場として実施してきましたが、オンラインによる試験に変更します。

- (1) 博士前期課程 一般入試
- (2) 博士前期課程 社会人特別入試
- (3) 博士後期課程 一般入試

なお、外国人留学生特別入試の変更はありません。

学力検査等の内容および評価方法等の変更については、次ページ以降をご覧ください。

### 3 学力検査等の内容および評価方法等の変更について（※ 変更箇所を下線で示す）

(1) 博士前期課程 一般入試

① 学力検査内容および評価方法を以下のとおり変更します。

変更前		
学力検査 内容	小論文 (120分)	<u>学生募集要項の「平和学研究科平和学専攻（博士前期課程）教員および担当授業科目・研究分野一覧」で示された研究領域の中から出題される複数のテーマのうち、1題を選択し、論述する出題方法とします。</u> <u>研究領域における基本的知識や理解力、および論理的思考力を確認します。原則として日本語で出題します（専攻分野によっては英語で出題することがあります）。</u>
	口述試験	<u>提出された研究計画書の内容を中心に、研究意欲や研究能力を確認します。原則として日本語で行います（専攻分野によっては英語で行うことがあります）。</u>
合否判定	小論文の成績、口述試験の成績および出願書類を総合して行います。	



変更後		
学力検査 内容	口述試験 (20分程度)	<u>【内容】出願書類をもとに、関連する分野について口述試験担当者が問い、受験者が口頭により回答する形式で行います。</u> <u>【評価方法】アドミッション・ポリシーに基づいて、平和学研究科における講義の受講や修了要件を満たすために必要な知識・能力等について3段階で評価します。</u>
	面接 (20分程度)	<u>【内容】出願書類をもとに、志望動機、研究計画等を問います。</u> <u>【評価方法】アドミッション・ポリシーに基づいて、研究意欲、学修意欲および平和学研究科における適性等を3段階で評価します。</u>
合否判定	口述試験の成績、面接の成績および出願書類を総合して行います。	

※ 原則として日本語で行います（専攻分野によっては英語で行うことがあります）。

② 以下の書類を出願書類に追加します。

出願に必要な書類等	作成方法等
志望理由書 (同じものを4部)	これまでの経験を踏まえて、本研究科に入学を希望するに至った経緯と理由をまとめてください。 また、本研究科における研究成果を、今後の社会生活にどのように生かしていくかについての展望にも触れてください。 使用言語は日本語または英語とし、A4判用紙に横書きで、日本語は1,000字程度、英語は600 words程度とします。

(2) 博士前期課程 社会人特別入試

学力検査等の名称のみ変更します。なお、試験内容および評価方法に変更はありませんが、下記のとおり学生募集要項に明記します。

変更前		
学力検査 内容	<u>口述試験</u>	提出された研究計画書、志望理由書、業績・実績申告書の内容を中心に、研究意欲や研究能力を確認します。 原則として日本語で行いますが、専攻分野によっては英語で行うこともあります。
合否判定	<u>口述試験</u> の成績および出願書類を総合して行います。	



変更後		
学力検査 内容	<u>面接</u> (30分程度)	【内容】提出された研究計画書、志望理由書、業績・実績申告書の内容を中心に問います。 【評価方法】アドミッション・ポリシーに基づいて、研究意欲や研究能力を3段階で評価します。
合否判定	<u>面接</u> の成績および出願書類を総合して行います。	

※ 原則として日本語で行います（専攻分野によっては英語で行うことがあります）。

(3) 博士後期課程 一般入試

学力検査等の名称のみ変更します。なお、試験内容および評価方法に変更はありませんが、下記のとおり学生募集要項に明記します。

変更前		
学力検査 内容	<u>口述試験</u>	提出された研究計画書、志望理由書、業績・実績申告書の内容を中心に、研究意欲や研究能力を確認します。 原則として日本語で行いますが、専攻分野によっては英語で行うこともあります。
合否判定	<u>口述試験</u> の成績および出願書類を総合して行います。	



変更後		
学力検査 内容	<u>面接</u> (60分程度)	【内容】提出論文、研究計画書、参考となる資料、志望する研究分野の内容などを中心にして、① 研究報告 (20分程度)、② 研究報告に対する質疑応答及び提出論文、研究計画書、志望する研究分野の内容等に関する質疑応答 (40分程度) を実施します。 【評価方法】研究意欲や研究能力を3段階で評価します。
合否判定	<u>面接</u> の成績および出願書類を総合して行います。	

※ 原則として日本語で行います（専攻分野によっては英語で行うことがあります）。

(4) 博士前期課程 外国人留学生特別入試

試験内容および評価方法に変更はありませんが、下記のとおり学生募集要項に明記します。

学力検査 内容	書類審査	【内容】日本語または英語能力の検定試験結果および研究計画書，推薦書等の提出書類を審査します。 【評価方法】研究意欲や研究能力を3段階で評価します。
合否判定	書類審査の成績により行います。	

※ 必要に応じてオンライン面談を実施することがあります。この場合、日時は受験者と調整します。ただし、評価の対象ではありません。